

川崎陸送／QCサークル代表発表大会

取り組み成果競う

生産性向上や緊急時対応

川崎陸送(樋口恵一社長、東京都港区)は6月27日、第42回QC(小集団活動)サークル代表発表大会を開き、全国の営業所、配車セ



優秀賞に輝いた京都営業所の受賞者と樋口社長(右)

作業時間の短縮や業務フローの修正、ラベルの貼り間違いの改善といった生産性向上の取り組みのほか、豪

雪など緊急時の対応や液体物を移す際の液漏れ対策など、様々な活動が発表された。

また、個人が対象の改善提案では、センターの天井に配置されている配管の破損事故防止策、作業数の見直しによる時間短縮、構内の見通しの悪い場所にテープを貼り、段差をつくることで徐行を促す安全確保策

など優秀賞、努力賞に輝いた社員がそれぞれプレゼンテーションした。

QCサークル推進委員長を務めた樋口社長は「改善活動のための改善の取り組みにならないよう、QC活

動を進化させて欲しい」と更なる奮起を促した。

なお、優秀賞には作業工程の改善に取り組んだチーム「Mixジュース」(京都営業所)が輝いた。

(田中信也)